



京都 YWCA

1 2012

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「ハード・レイン —パンドラの箱から降り注ぐ放射能」

上映と細川弘明さんのお話

京都 YWCA では「脱原発を考える連続講座」パート2として、12月11日に「ハード・レイン Hard Rain」を上映し、日本語版監修者細川弘明さん（京都精華大学人文学部教授）からお話を聞いた。



映画「ハード・レイン」の内容

—ウラン採掘から核燃料再処理まで—

アカデミー賞受賞歴もあるドキュメンタリー映画監督デビット・ブラットベリーは映画の冒頭で、「オーストラリアがウラン採掘を拡張し、『気候変動対策』の切り札として原発建設の検討を始め、更に禁断の領域に入ろうとしています。私の中で警報が鳴り始めました」と投げかける。「本当の情報」を求め、ふるさとのオーストラリアをはじめ、フランス、イギリス、日本（広島・福井）をめぐり、各分野の専門家、関係者の意見、採掘現場、原住民族の苦悩など様々な角度から取材されている。

ウランが採掘されると何百万トンもの鉱さい（鉱石処理の後に残る細かい粒）が残る。その中には元の鉱石の放射能の大部分が含まれている。鉱石はむき出しの放射能の粉になり、風に吹かれラドンガスが飛び散り、雨季には川に流れ、地下

水とともに広がる。鉱山労働者やその家族、地元社会への被害を与え、鉱山から千キロ離れた所からもラドンガスが検出されている。

原発が温暖化対策になるということはない。ウラン採掘、精錬、ウランの濃縮、原子炉の建設、廃炉になった後の解体、高レベル、低レベル廃棄物処理、核燃料の再処理すべての段階でCO₂を放出する。軍事利用等、核燃料サイクルにはさまざまな負の側面がある。原発事故、地震、温排水による水質悪化、イギリスの再処理工場の深刻な放射能漏れによる被害、中国のウラン輸入の真意、ウラン濃縮廃棄物の劣化ウランの軍事利用等、その内容は多岐にわたる。

原子力に代わるエネルギーを得る方法には、風力、バイオマスエネルギー、天然ガス、太陽エネルギー、地熱などがある。省エネ技術もあり、これらはコスト面でも雇用面でも実用可能である。また、地域でエネルギーを生み出すことにより、防衛、送電ロス、効率などの問題を解決できる。

細川弘明さんのお話

この映画は2007年に制作されたもので、オーストラリアの現状には少し変化がある。原発建設に関しては、福島原発事故、自然エネルギーの開発の進展もあり立ち消えになっているが、鉱山拡張は2011年11月に決定した。詳しくは、ブラットベリー監督最新作を見ていただきたい。

(<http://www.parc-jp.org/teigen/2011/roxstop-action.html>)

1950年代日本の原子力開発研究が始まった当時の人形峠のウラン鉱山採掘残土がまだ野積みのまま放置されており、最初の廃棄物でさえ処理できていない。核燃料サイクルのゴミは、各段階で出てくるのであって最後にだけ出るというものではない。日本の原発輸出に関しては、事故補償、廃棄物に関することが契約上の要求となり困難である。

福島の放射能除染の問題

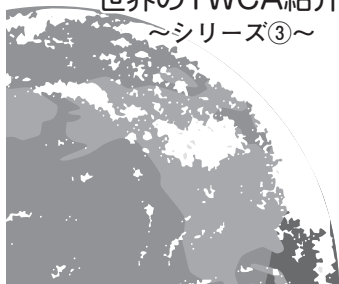
チェルノブイリの百倍の人口密度であり被害はより大きい。ソ連ではチェルノブイリ以前の事故の経験から曲がりなりにもあった事故対応のマニュアルが、日本にはなく、対応が遅れた。除染は場所によってかかるコストや年数が違うので区別して対処する必要があるが、「公共事業」としての除染が行われようとしている。私たちは、チェルノブイリ以上の被害を覚悟しなければならないかもしれないし、その支援も考えていかなければならない。

この他、オーストラリアの自然、先住民族、オリンピック・ダム（ウラン鉱山）などについて映像で示し、いくつかの質問に答えていただきました。

（神原 喜久恵）

リベリアYWCA

世界のYWCA紹介
～シリーズ③～



2011年ノーベル平和賞はアフリカ・リベリアのエレン・サーリーフ大統領と平和運動家リーマ・ポウィーさん、中東・イエメンの反政府活動家タワック・カルマンさんの3人の女性が受賞しました。ノーベル賞委員会は「民主主義と平和の構築のために、3人は社会で男性と同様の影響力を持ち、紛争解決や民主化に非暴力で立ち向かった」とその功績を称えました。京都YWCA国際委員会では2人の受賞者を出したリベリアに興味を持ち、同国のモンロビアにあるYWCAの活動を紹介します。

リベリアYWCAのミッションとビジョン

リベリアの女性と少女たちは全世界のキリスト教団体の女性たちと手を携えて、キリスト教精神に則って奉仕する。そのミッションを実行することにより、信仰に基づいて約束された個人的、社会的理想に向かって(リベリアの若者のために)活動できることを目指す。

活動

リーダーシップ養成、ジェンダーについての政策提言、若者の育成、農業や技術研修、レクレーションプログラム、メディアと芸術に関する訓練、教育の機会の提供、子どもの健康保護・ジェンダーに起因する暴力被害者を守るシェルター運営、トレーニングキャンプ、平和構築のためのプログラム・若者のための居場所提供、HIV/AIDSの啓発など。

若者たちに自分の場を持つ機会を提供

人種、宗教、信条に拘らずマイクロクレジット団体(注)を通じて、困難な状況にある子どもたちの母親への支

援や若者への奨学金を提供している。それによって若者たちは教育を受ける機会を得ることができ、自立して生活する能力を高めている。

このようにリベリアYWCAは全ての若者をエンパワーすることに力を入れている。また、リーダーシップを発揮する機会や意思決定機関に若者たちを参加させている。

(注) 世界の貧困者(特に女性)に小額の融資を行い、経済的自立を支援する制度。

(国際委員会)



リベリア YWCA の若者たち

シリーズ：原発事故から私たちの暮らしを問い直す(4)

石油文明と原発

地球温暖化問題の救世主ともてはやされていた原発であるが、今回の事故で、一時的に吹っ飛んでしまった感がある。しかし、またもり返さないとも限らない。

国内で駄目なら「CO₂削減に原発を」というふれこみで、原発輸出が目論まれている。

石炭や石油は産業革命以来、エネルギー源の首座を長らく占めて来たが、その一方で「CO₂を大量に発生したため、地球温暖化がもたらされた。今後は、CO₂発生削減に向けてエネルギー源を石油から原子力へシフトしなければならない。太陽や風力などの自然エネルギーは、まだ緒に就いたばかりだ、原発で、CO₂削減を図る以外にない。それで原発を建設しましょう」というのである。ウランが、同じ化石燃料である石油の代替になると言わんばかりであるが、本当にそうだろうか。

身の回りをちょっと見渡すだけで、それはないだろうとすぐ分かる。石油はそのまま燃やして暖をとることができるが、ウランではそうはいかない。工業的には、核分裂で発生する熱をそのまま使った原子力製鉄が夢想されていたが、構想倒れに終わった。原子炉を搭載した潜水艦はあるが、ウランで走る車はない。エネルギー源としての代替さえおぼつかないだけでなく、逆に、原発を動かすのに石油は不可欠である。

石油は単なるエネルギー源だけではない。私たちは、朝起きたときから寝るまで、石油製品に囲まれて生活している。しかし、石油や石油製品を燃やせば、CO₂が発生し、温暖化が進むのではないかと危惧されている。エネルギー源として使用する石油を減らせるだけ減らしたとしても、プラスチック製品をはじめとして、石油を原材料にしてできている製品は、どんな材料で代替できるのだろうか。

江戸時代の生活用品

江戸時代にプラスチックはなかった。生活必需品の原材料のほとんどは稲藁(いなわら)と竹であった。藁は稲作の副産物であったが、それは衣食住の広い範囲に亘ってさまざまな用途があった。蓑(みの)、藁草履(わらざうり)、草蛙(わらじ)などの衣関係。食関係では、米俵、菰(こも：あらく織ったむしろ)や台所の日用雑貨品、納豆の藁包み。住関係では、注連縄(しめなわ)、藁葺き屋根、畳の中身、土塀補強材、縄など。

「藁入が帰ると後架藁ばかり」

(奉公人が盆や正月に実家に帰ると、便所は藁ばかり、という意味)と農家では紙の代わりに藁でぬぐっていた。

竹も同様で、日用品だけでなく、玩具や楽器、武器などさまざまな用途があった。竹の皮は包装材に使われた。一昔前までは、肉を包むのは竹の皮であったことを思い出せば十分である。

石油のような枯渇する原材料でなく、更新可能な材料を、一年すれば資源量がもとに戻るような仕方を利用して、そんな生活に戻れないものだろうか。

(京都反原発めだかの学校 大野 弘)

わたし、京都 YWCA に通っています！

てづくりひろば～ティナさんの編み物～

天下裕子さん

ードイツの毛糸に魅せられてー

「編み物って肩が凝る？」イエエ！ ドイツ式の編み方は肩凝りの治療にもなるらしいんですよ。夢中で編んでいると逆に疲れが取れ、イライラ気分も鎮まるみたい。なぜ夢中になっちゃうのか…？ 色鮮やかなドイツの毛糸はただ真っすぐに編んでいるだけなのに魔法みたいに勝手に柄が出てくるのです。それが嬉しくてどんどん編み進めてしまいます。ティナ先生が教えてくださるのは単純でわかりやすく応用のきくドイツ式の編み方。先生の愛情あふれるお人柄と不思議な毛糸に惹かれて教室には幅広い年齢層の方々がお越しになりますが、共通点はもちろん「編み物」。編み物の話をしだすともう止まりません。せっせと手を動かしながら和気あいあい楽しい時間を過ごしています。不思議な毛糸といえば YWCA の受付にも置いてあります「小原木タコちゃん」をご存知ですか？ 宮城県気仙沼の皆さまとティナ先生のご縁が生んだ復興のシンボルです。ドイツの毛糸を使い個性豊かな表情とおしゃれな飾り…。一つとして同じものがないタコちゃんはその8本の足で幸せをしっかりとつかみます。タコの足が再生するように「また立ち上がろう」という力強いメッセージが込められています。

てづくりひろば～ティナさんの編み物～原則毎月第2、4木曜開催（お問い合わせください）。連続講座ではありませんので興味のある方はいつでもお越し下さいね。



てづくり広場の様子



不思議なドイツの毛糸

小原木タコちゃん

● YWCA・YMCA 合同祈禱週集会報告 ●

テーマ：若者は権利と正義を呼び求める

「アフガニスタン・イラク そしてフクシマ」

京都 YMCA と合同で企画している今年の合同祈禱週集会は講師にフリージャーナリストの西谷文和さんをお迎えしました。

タリバンとアメリカ軍の非人道的爆撃によって二重の苦しみを受け続けるアフガニスタンの人々。劣化ウラン弾によって現在も苦しんでいるイラクの子どもたち。そしてフクシマ。共通点は、核とは共存できないことはわかっているはずなのに、強い人々が非常にもうかるという点と一般市民が犠牲になる点です。

西谷さんからは、多くの国民を戦争や原発容認に導く「広告（プロパガンダ）」の持つ力についても指摘されました。逆にこの広告を平和への力に変えることができれば…。情報操作に関しては、戦争だけではなく原発も同様です。

また、「総括原価方式での集金制度」を紹介されました。つまり、電力会社は広告費が高ければ高いほど、各家庭の電気料金に反映させもうけが出る仕組みになっているので、電気会社は業界最大手の広告主となっているのです。構造的に電力会社に依存するテレビ局の実態を改めて確認しました。

アフガンの難民キャンプをレポートする西谷さんが「平和を知らない子たちに平和を教えてあげたい」と語っていましたが、その難しさに気が遠くなりそうでした。しかし、難民キャンプを訪問した、国境なき医師団ならぬ「国境なき芸能団」による手品や漫画、笑いの支援をみて、少し救われた気がしました。

また、YMCA/YWCA 会員手づくりのスープとパンの暖かさに触れ、情報の読み取りをしっかりと行うことによってアフガンからフクシマまでつながる問題に、へこまず取り組もうと思いました。（吉村千恵）

■ 「YWCA フェスタ in 長崎ー全国会員集会」報告 ■

11月26日・27日、長崎の活水女子大学で「YWCA フェスタ in 長崎 全国会員集会、～女性が創り出す安全な世界～」が開催され、全国から200名以上の会員が結集しました。京都 YWCA からは12名が参加し、世界 YWCA 総会や日韓ユースカンファレンスの報告、ワークショップの企画運営等、随所で活躍しました。また海外からは、世界 YWCA のチャライ・ゲンボンズバンダ総幹事や台湾 YWCA のユースメンバーが参加しました。

今回のフェスタは、大学のチャペルでのハンドベル演奏で幕が開き、まず東日本大震災の被災者の方へ黙祷を捧げました。その後、長崎の被爆者からの証言、高校生平和大使の活動紹介、福島の実況報告等が行われ、過去から現在につづく「核否定」の姿勢や、平和な世界を希求する声を未来につなげていく決意を、会場全体で共有しました。

今回のフェスタに参加してみて、まずは YWCA 自身が、人々にとって安全で平和な場所になるということが、この問題を解決する一番の近道であると確信しました。核、原発の問題から、身近に潜む暴力やジェンダーに基づく差別など、普段は言いにくいことでも、YWCA に行けば安心して話すことができる、問題意識を共有できる多様な世代の仲間がいる、そして解決にむけて新しい動きを創り出すことができる、というような場所づくりを地道にしていくことが、「女性が創り出す安全な世界」を実現する第一歩ではないか、と感じた2日間でした。（福岡由里子）



チャライ世界 YWCA 総幹事講演



京都 YWCA からの参加者



シリーズ：一緒に活動しませんか！

おやのだんわしつ



「おやのだんわしつ」は、京都YWCA「子どもの教育を考える委員会」に所属するグループです。

この名前からは、どんな親たちが、何について談話するのか、さっぱりわからないと思います。私たちの部屋に集うのは、言葉、発達に心配がある子どもと生活している親です。そして、主に子育てについて、日々の心配や不安や悩みを傾聴し合い、想いを共有し合います。そのために私たちはリラックスした雰囲気心がけ、お茶やお菓子を用意して、「だんわしつ」の扉を叩いてくださる方をお待ちしています。

2006年秋の開室以来、月に一度のペースで開いていましたが、5年経つとメンバーの子どもたちも大きくなります。それに伴い親自身の生活も大きく変化します。そのため、定期開室が困難になりました。しかし、メンバーそれぞれが「だんわしつ」の活動を大切に考えていて、何とか続けられないかと模索してきました。その結果、今年度から年3回程度の不定期開室の形で、本来の「ホッと一息つける場所」であることに加えて、ゲストを招いたり、プログラムに工夫をこらしたりして、より充実した時間を創ることを目指します。11月14日には、発達臨床心理士の室先生をお招きして、新装「だんわしつ」第1回を行うことができました。ここならではの温かな雰囲気があって、ワークショップ後にも自由に談話を続ける参加者の姿がありました。

今、「だんわしつ」は切実に共に活動を創ってくださる仲間を求めています！お話し好きである必要はありません。特別な知識も必要ありません。子どもの育ちを真剣に支えたいと思っているお母さん、お父さんの言葉に耳を傾け、心を寄せたいと思って下さるだけで素晴らしい仲間になれます。お忙しい方も、年に3回程度です。どうぞお力をお貸しください！

お問い合わせは京都YWCA事務局まで。

(別所加恵)

ご寄付ありがとうございました。 敬称略 (2011年10月1日～11月30日)

*一般寄付

神門佐千子、山本知恵、河本チサ子、安藤いづみ、
吉村千恵、今井貴美江、松永公子

*指定寄付

APT：青木理恵子、安藤いづみ、
希望の家カトリック保育園、服部素、森田紀子、
山下真、村西優季、原田みな美、水嶋翔一、
井上依子、ヌヴェール愛徳修道会深草修道院
国際：宮武美知子（洛楽）
平和：吉村千恵

活動G連絡会：ビーンズ

スリフトショップ：スリフトショップ委員会有志
次世代育成P：ドーナッツ有志
ピアノ募金：聴くだけじゃない音楽会有志

キッチンミニホール改装募金：

舟木加代、神門佐千子、平野富希、山本知恵、
勝山久仁子、原田みな美、小寺敬子、別所加恵、
下村泰子、吉岡恵津子、中川美佳子、松本弘子、
松田弥寿子、森律子、宮川文子、川崎愛、
本田次男、明石好蔵、藤原久美香、中村和雄、
北垣景子、北村保子、今井貴美江、森明子、
杉勝利、野崎泰子、奥村千重子、有田佳子、
イエニックふたみ、杉本康代、野瀬勇希、
野瀬将史、吉川文一、読書会有志、室紀子、
匿名3名

*賛助費

武綾子、芝野和子

東日本大震災被災者支援：今井貴美江
パキスタン・タイ洪水被災者支援：
北村保子、浅野久代、池上信子

■ イベント案内 ■

● お気軽にご参加下さい！ ●

大人の修学旅行 (2.11 イベント)
「京都の中の朝鮮文化を学ぶ」
2012年2月12日(日)

竹中 真 ジャズピアノコンサート
2012年1月9日(月・休) 16:00～

アメリカ在住の竹中真さんは夏には東日本を訪れ
各地で演奏活動をして被災者を励ましてこられま
した。すがすがしい年の初めを迎えましょう。

多文化理解プログラム 第二弾
2012年1月14日(土) 13:30～15:30
「ここが違う世界の習慣—あなたの国
のお祝い事は?—」

「絵本の世界でつながる人と人
～おはなしボランティア研修～」
1月16日・23日・2月6日・13日(月)
10:30～12:30 参加者募集中。
全4回 2,100円。単発800円。

菅英三子さんコンサート
2012年3月11日
第1部「祈り」第2部「未来」。

定期会員集会
2012年3月20日(火・休)
10:30～16:00(昼食あり)

クリスマスバザールにご協力いただき、 ありがとうございました。

12月3日(土)開催、入場者約500名でした。
以下の会社・団体よりご協力いただきま
した。厚くお礼申し上げます。

(株)山田松香木店、(株)ユニティー、
平野歯科医院、(有)飯室商店、
(株)マイチケット、(有)テララ貨物店、
(株)オニザキ、(株)伊那食品工業、
オ・グルニエ・ドール、(株)ティ・エム・エス、
はちはち、じょいはなひろ、
きものリメイク・エヌ、ドクターショール、
一保堂茶舗、(株)垣見汲古堂

11月・12月／理事会報告

★理事会報告

○被災者支援プロジェクト

・京都YWCAとして、3階の一室(3月まで空室予定)を日本Yの「冬のセカンドハウスプログラム」に提供を申し出る。

・京都市桃山に避難されている約60世帯の方々をクリスマスバザールへ招待。

○中長期ビジョンの各検討チームの動きについて情報共有。

○2012年度の運営委員会管轄の委員会の動き、方向性について意見交換。

KYOTO YWCA No.506

2012年1月号(1月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 (財)京都YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (財)京都YWCA

定価 50円